

do it pro bono.

サービスグラント 年次報告書2011

[2011年4月1日－2012年3月31日]

SERVICE GRANT

特定非営利活動法人 サービスグラント

目次

2011年度の総括

- 1 サービスグラントの概況
 - ＞ 関西事務所を設立、第1期プロジェクトをスタート
 - ＞ 日本各地に広がるプロボノへの関心と実践
 - ＞ 幅広いNPOニーズに応える新規プログラムの開発
- 2 広がる企業との協働
 - ＞ サービスグラントへの参加・支援
 - ＞ 独自プログラムの構築・運営
- 3 プロボノに関するコンサルティング事業
- 4 情報発信実績
- 5 理事より
- 6 会計報告

2011年度の総括

サービスグラントの2011年度のチャレンジは、これまで東京を舞台に試行錯誤を通じて構築してきた仕組みを、国内の様々な地域で実際に試してみる、ということでした。

関西事務所の立ち上げ、ふるさとプロボノ、そして、国内各地におけるプロボノ・コーディネーター人材の育成。こうした動きを通じて、プロボノの輪を広げていくことに取り組みました。

こうした動きは、一見、計画的に、実に卒なく成し遂げられているかのようにも映るのかもしれませんが、でも、この場でタネ明かしをしてしまえば、関西事務所の運営を通じて、いろいろなことを体感し、その

1 | サービスグラントの概況

サービスグラントの提供件数は、年々増加しています。

2009年度に10件、2010年度に21件、という実績を踏まえ、2011年度においては、27件のプロボノプロジェクトの立ち上げを実現しました。

その内訳は、東京エリアで21件、今年度からスタートした関西エリアで6件となります。また、プロジェクトの種類については、ウェブサイト20件、印刷物3件に加え、新規プログラムである業務フロー設計4件が加わりました。

このように、サービスグラントでは、「エリアの拡大」および「プログラムの拡充」を通じて、サービスグラントの提供機会を広げています。その結果、2011年度末のプロジェクトの累計件

関西事務所を設立、第1期プロジェクトをスタート

サービスグラントにとって2011年度における最大のチャレンジは、これまで東京を拠点に行ってきたプロボノプロジェクトの運営を、関西という新しい地域で立ち上げ、軌道に乗せることでした。

関西エリアでは、今年度に先立ち、2010年10月に「プロボノフォーラムOSAKA 2010」を開催しました。この場に、関西一円でプロボノに関心を持つ147名の皆さま

日本各地に広がるプロボノへの関心と実践

各地の中間支援型NPOと連携 ～ プロボノ実現に向けた準備

2011年度は、サービスグラントのモデルを他地域に展開する準備の年ともなりました。

各地域でネットワークを持つ既存の中間支援型NPOとの連携により、地域におけるサービスグラントの導入を進めています。

2

幅広いNPOニーズに応える新規プログラムの開発

サービスグラントでは、2005年の活動開始以来、ウェブサイトを中心として、NPOの情報発信・マーケティングに関する支援プログラムを提供してきました。ウェブサイトやパンフレットは、NPOのニーズも高いと同時に、成果が目に見えやすく、プロボノの効果を実感しやすい成果物と言えます。これまでサービスグラントによって構築されたウェブサイトは、さまざまなプラスの反応を生み出し、NPOの寄付者・支援者・協働企業等の拡大に寄与してきました。

2 | 広がる企業との協働 – サービスグラントへの参加・支援

NPOに対して無償でプロボノサービスを提供するサービスグラントの事業運営には、企業の皆さまとの連携・協働が不可欠です。

サービスグラントの枠組みを最大限有効に活用し、CSR活動の一環として、社員ボランティアの機会として、サービスグラントにご支援・ご参加いただいた企業の皆さまをご紹介します。

パナソニック株式会社

広がる企業との協働 – 独自プログラムの構築・運営

サービスグラントで培われたプロボノプロジェクトの運営ノウハウを活用し、支援の対象・内容・方法を企業ごとにアレンジした「独自プログラム」の運営にも携わっています。

日本電気株式会社

若手社会起業家育成のためのプログラム「NEC社会起業塾」から輩出された起業家を対象に、社員がプロボノによる支援を行う「NEC社会起業塾ビジネスサポーター」の第2期が行われました。

3 | プロボノに関する広報活動

プロボノフォーラムOSAKA 2011

【2011年11月23日 中之島デザインミュージアムにて開催】

2010年10月に大阪でプロボノフォーラムが開催されてから1年弱。前回のフォーラムとの最大の違いは、イベントの主役が地元・大阪のNPOとプロボノワーカーとなったことです。

2011年度に

4 | 情報発信実績

書籍『プロボノ ～ 新しい社会貢献 新しい働き方』

【2011年4月20日 勁草書房より刊行】

国内初の「プロボノ」をテーマとする書籍として、2011年4月20日に勁

5 | 理事より

生駒 芳子 [理事] ファッションジャーナリスト

プロボノは、この21世紀、社会や産業におけるスタートアップ・エネルギーとして、またコミュニケーションやクリエイションの潤滑油として、大きな役割を担い始めています。過去は変えられないけれど、未来は自由に構築できる！志と情熱、思いやりとインスピレーションによるプロボノ・アクションで、未来をクリエイティブに、ダイナミックに創造して行きましょう！！

川渕 恵理子 [理事] 株式会社イデー 常務取締役

6 | 会計報告

2011年度のサービスグラントの財政規模は3283万円となりましたが、関西事務所の設立や日本各地への展開に伴い、旅費交通費などが大きく膨らみ、最終的に23万円弱の赤字決算となりました。

2009年度以来ご支援をいただいた日本財団の助成金は今年度限りとなり、2012年度以後は、ますます、企業および行政との協働プロジェクトを通じた資金調達が生命線となります。

また、寄付金・会費収入など個人の方からの支援を得るためのサポーター制度の構築や、認定NPO法人の取得なども、今後サービス

do it pro bono.